

放射線科よりご案内

当科は常勤画像診断医2名、放射線治療医2名の計4名、さらに非常勤医師の協力を得て充実した診療を継続しています。

今回は核医学検査での新しい脳疾患診断薬ダットスキャンについて紹介させていただきます。ダットスキャン検査は核医学領域では久々に登場した新しい検査です。2013年7月には34の国または地域で承認されています。日本では2013年9月に承認され、2014年1月から発売が開始されています。当院でも2015年4月より採用しております。以下に本剤の特徴についてご紹介致します。

1. 有効成分の一般的名称

和名：イオフルパン(^{123}I)

洋名：ioflupane(^{123}I)

2. 効能または効果

パーキンソン症候群、レビー小体型認知症の診断精度の向上が期待されます。

パーキンソン症候群があってもMRIなど脳の形を見る画像検査では健康な人との区別がほとんどつきません。これに対しダットスキャン検査は疾患の原因となるドパミン神経の減

少が確認できるので、早期診断および早期からの治療開始に役立ちます。

レビー小体型認知症はアルツハイマー型認知症に次いで多く、脳血管性認知症とともに三大認知症と言われています。認知症はそれぞれ原因が異なり、症状の特徴や進行の仕方にも違いがあります。レビー小体型認知症は幻視、睡眠時の異常行動の特徴的な症状がありますが、パーキンソン様症状、抑うつなど様々な症状がみられることもあり、症状だけでは鑑別は困難です。レビー小体型認知症では脳のドパミン神経が壊れるため、この変化を画像でとらえるダットスキャン検査が有効です。

3. 検査の受け方

患者様に静脈投与を行ってから約3時間後に検査を開始します。装置のベッドに仰向けに寝ている間に検査を行い、約30分で終わります。

以上、ダットスキャンについてご紹介致しました。ご不明な点は当院放射線科までお問合せいただけますようお願い致します。

放射線科 医員
榎原 優



病院の理念



1. 患者さんの視点に立った安心・安全な医療の実践に努めます。
2. 患者さんに最適な医療を提供できるように努めます。
3. 新しいことにもチャレンジし、医療の質の向上に努めます。
4. 思いやりのある医療人の育成に努めます。

地域医療連携室よりお知らせ

脳神経外科

先月号の地域医療連携室だよりでもお知らせいたしましたが、6月より常勤医師退職に伴い、**一旦診療体制を変更**させて頂いております。

火曜日 午前診のみ（受付8：00～11：00）

ご不便をお掛けしますが、ご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

眼 科

7月11日（月）**休診** ⇒ 7月14日（木）**振替診察**とさせていただきます。

退職医師のお知らせ

消化器内科 格谷 洋和医師が6月末日をもって退職することとなりました。

新任医師の紹介

呼吸器内科



おか たか こ
岡 隆 子

初めまして。4月より呼吸器内科で診療させて頂いております岡 隆子と申します。平成17年に大阪市立大学を卒業し、これまで済生会中津病院、大阪市立大学医学部附属病院、JR大阪鉄道病院などで勤務しておりました。主に肺癌の診断、治療を行って参りましたが、当院では呼吸器疾患全般の診療をさせていただく予定です。

呼吸器疾患の患者様が大変多い病院ですので、少しでもお役に立てるよう努めさせて頂きたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



呼吸器内科



みや もと あつ し
宮 本 篤 志

はじめまして。4月より和泉市立病院で勤務させていただくことになりました、宮本 篤志と申します。大阪市立大学を卒業後、同附属病院で初期臨床研修を修め、今春から呼吸器内科医として働くこととなりました。

呼吸器に関わる疾患は感染症、アレルギーを始め多岐にわたり、日常診療で出くわすことも多いです。和泉市の医療に貢献できるよう日々精進して参りますので、何卒よろしくお願いいたします。



◆ ちょっと一言欄（何かお気づきの点があれば、FAXにて送信ください。） ◆